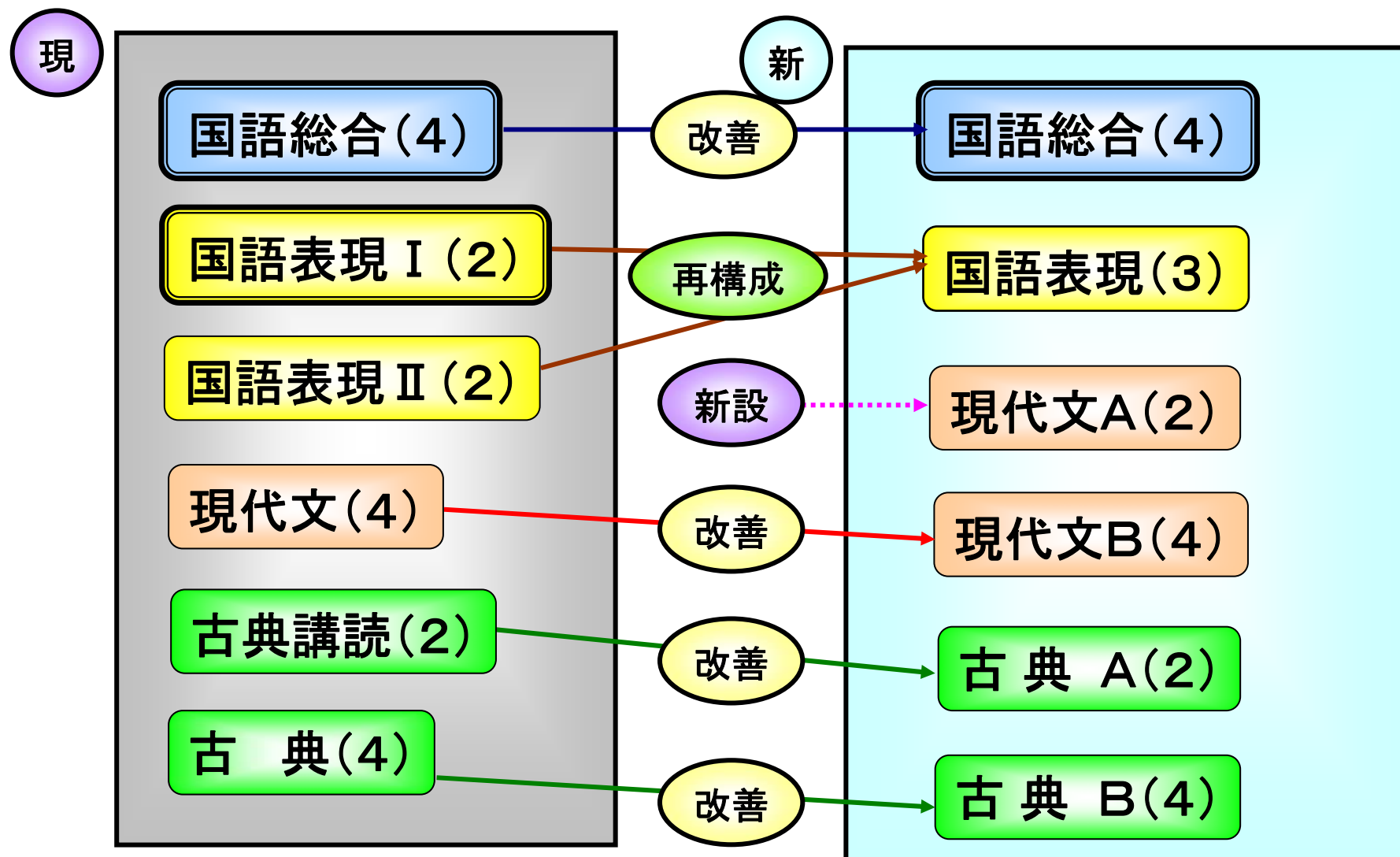


関 連 資 料

- 国語科
- 地理歴史科
- 公民科
- 数学科
- 理科
- 保健体育科
- 外国語科
- 情報科

高等学校国語の科目構成について



()内は標準単位数。  は必修科目。

地理歴史科の構成

(改訂案)

(現行)

世界史A

- (1) 世界史へのいざない
 - ア 自然環境と歴史
 - イ 日本列島の中の世界の歴史
- (2) 世界の一体化と日本
 - ア ユーラシアの諸文明
 - イ 結び付く世界と近世の日本
 - ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成
 - エ アジア諸国の変貌と近代の日本
- (3) 地球社会と日本
 - ア 急変する人類社会
 - イ 世界戦争と平和
 - ウ 三つの世界と日本の動向
 - エ 地球社会への歩みと課題
 - オ 持続可能な社会への展望

- (1) 諸地域世界と交流圏
 - ア 東アジア世界
 - イ 南アジア世界
 - ウ イスラーム世界
 - エ ヨーロッパ世界
 - オ ユーラシアの交流圏
- (2) 一体化する世界
 - ア 大航海時代の世界
 - イ アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制
 - ウ ヨーロッパ・アメリカの諸革命
 - エ アジア諸国の変貌と日本
- (3) 現代の世界と日本
 - ア 急変する人類社会
 - イ 二つの世界戦争と平和
 - ウ 米ソ冷戦とアジア・アフリカ諸国
 - エ 地球社会への歩みと日本
 - オ 地域紛争と国際社会
 - カ 科学技術と現代文明

世界史B

- (1) 世界史への扉
 - ア 自然環境と人類のかかわり
 - イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり
 - ウ 日常生活にみる世界の歴史
- (2) 諸地域世界の形成
 - ア 西アジア世界・地中海世界
 - イ 南アジア世界・東南アジア世界
 - ウ 東アジア世界・内陸アジア世界
 - エ 時間軸からみる諸地域世界
- (3) 諸地域世界の交流と再編
 - ア イスラーム世界の形成と拡大
 - イ ヨーロッパ世界の形成と展開
 - ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界
 - エ 空間軸からみる諸地域世界
- (4) 諸地域世界の結合と変容
 - ア アジア諸地域の繁栄と日本
 - イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界
 - ウ 産業社会と国民国家の形成
 - エ 世界市場の形成と日本
 - オ 資料からよみとく歴史の世界
- (5) 地球世界の到来
 - ア 帝国主義と社会の変容
 - イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現
 - ウ 米ソ冷戦と第三世界
 - エ グローバル化した世界と日本
 - オ 資料を活用して探究する地球世界の課題

- (1) 世界史への扉
 - ア 世界史における時間と空間
 - イ 日常生活に見る世界史
 - ウ 世界史と日本史とのつながり
- (2) 諸地域世界の形成
 - ア 西アジア・地中海世界
 - イ 南アジア世界の形成
 - ウ 東アジア・内陸アジア世界の形成
- (3) 諸地域世界の交流と再編
 - ア イスラーム世界の形成と拡大
 - イ ヨーロッパ世界の形成と変動
 - ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界
- (4) 諸地域世界の結合と変容
 - ア アジア諸地域世界の繁栄と成熟
 - イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界
 - ウ ヨーロッパ・アメリカの変革と国民形成
 - エ 世界市場の形成とアジア諸国
 - オ 帝国主義と世界の変容
- (5) 地球世界の到来
 - ア 二つの大戦と世界
 - イ 米ソ冷戦と第三勢力
 - ウ 冷戦の終結と地球社会の到来
 - エ 国際対立と国際協調
 - オ 科学技術の発達と現代文明
 - カ これからの世界と日本

日本史 A

(1) 私たちの時代と歴史

(2) 近代の日本と世界

- ア 近代国家の形成と国際関係の推移
- イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢
- ウ 近代の追究

(3) 現代の日本と世界

- ア 現代日本の政治と国際社会
- イ 経済の発展と国民生活の変化
- ウ 現代からの探究

(1) 歴史と生活

- ア 衣食住の変化
- イ 交通・通信の変化
- ウ 現代に残る風習と民間信仰
- エ 産業技術の発達と生活
- オ 地域社会の変化

(2) 近代日本の形成と19世紀の世界

- ア 国際環境の変化と幕藩体制の動揺
- イ 明治維新と近代国家の形成
- ウ 国際関係の推移と近代産業の成立

(3) 近代日本の歩みと国際関係

- ア 政党政治の展開と大衆文化の形成
- イ 近代産業の発展と国民生活
- ウ 両大戦をめぐる国際情勢と日本

(4) 第二次世界大戦後の日本と世界

- ア 戦後政治の動向と国際社会
- イ 経済の発展と国民生活
- ウ 現代の日本と世界

日本史 B

(1) 原始・古代の日本と東アジア

- ア 歴史と資料^{れい}
- イ 日本文化の黎明と古代国家の形成
- ウ 古代国家の推移と社会の変化

(2) 中世の日本と東アジア

- ア 歴史の解釈
- イ 中世国家の形成
- ウ 中世社会の展開

(3) 近世の日本と世界

- ア 歴史の説明
- イ 近世国家の形成
- ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容

(4) 近代日本の形成と世界

- ア 明治維新と立憲体制の成立
- イ 国際関係の推移と立憲国家の展開
- ウ 近代産業の発展と近代文化

(5) 両世界大戦期の日本と世界

- ア 政党政治の発展と大衆社会の形成
- イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会
- ウ 第二次世界大戦と日本

(6) 現代の日本と世界

- ア 現代日本の政治と国際社会
- イ 経済の発展と国民生活の変化
- ウ 歴史の論述

(1) 歴史の考察

- ア 歴史と資料
- イ 歴史の追究
- ウ 地域社会の歴史と文化

(2) 原始・古代の社会・文化と東アジア

- ア 日本文化の黎明
- イ 古代国家の形成と東アジア
- ウ 古代国家の推移と社会の変化

(3) 中世の社会・文化と東アジア

- ア 武家政権の成立
- イ 武家政権の展開と社会の変化

(4) 近世の社会・文化と国際関係

- ア 織豊政権と幕藩体制の形成
- イ 産業経済の発展と都市や村落の文化
- ウ 国際環境の変化と幕藩体制の動揺

(5) 近代日本の形成とアジア

- ア 明治維新と立憲体制の成立
- イ 国際関係の推移と立憲国家の展開
- ウ 近代産業の発展と近代文化

(6) 両世界大戦期の日本と世界

- ア 第一次世界大戦と日本の経済
- イ 政党政治の発展と大衆文化の形成
- ウ 第二次世界大戦と日本

(7) 第二次世界大戦後の日本と世界

- ア 戦後政治の動向と国際社会
- イ 経済の発展と国民生活
- ウ 現代の日本と世界

地理 A

(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察

- ア 地球儀や地図からとらえる現代世界
- イ 世界の生活・文化の多様性

(1) 現代世界の特色と地理的技能

- ア 球面上の世界と地域構成
- イ 結び付く現代世界

- ウ 地球的課題の地理的考察
- (2) 生活圏の諸課題の地理的考察
 - ア 日常生活と結び付いた地図
 - イ 自然環境と防災
 - ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査

- ウ 多様さを増す人間行動と現代世界
- エ 身近な地域の国際化の進展
- (2) 地域性を踏まえてとらえる現代世界の課題
 - ア 世界の生活・文化の地理的考察
 - イ 地球的課題の地理的考察

地理 B

- (1) 様々な地図と地理的技能
 - ア 地理情報と地図
 - イ 地図の活用と地域調査
- (2) 現代世界の系統地理的考察
 - ア 自然環境
 - イ 資源、産業
 - ウ 人口、都市・村落
 - エ 生活文化、民族・宗教
- (3) 現代世界の地誌的考察
 - ア 現代世界の地域区分
 - イ 現代世界の諸地域
 - ウ 現代世界と日本

- (1) 現代世界の系統地理的考察
 - ア 自然環境
 - イ 資源、産業
 - ウ 都市・村落、生活文化
- (2) 現代世界の地誌的考察
 - ア 市町村規模の地域
 - イ 国家規模の地域
 - ウ 州・大陸規模の地域
- (3) 現代世界の諸課題の地理的考察
 - ア 地図化してとらえる現代世界の諸課題
 - イ 地域区分してとらえる現代世界の諸課題
 - ウ 国家間の結び付きの現状と課題
 - エ 近隣諸国研究
 - オ 環境、エネルギー問題の地域性
 - カ 人口、食料問題の地域性
 - キ 居住、都市問題の地域性
 - ク 民族、領土問題の地域性

公民の構成

(改訂後)

(現行)

現代社会

(1) 私たちの生きる社会

(1) 現代に生きる私たちの課題

(2) 現代社会と人間としての在り方生き方

(2) 現代の社会と人間としての在り方生き方

ア 青年期と自己の形成

ア 現代の社会生活と青年

イ 現代の民主政治と政治参加の意義

イ 現代の経済社会と経済活動の在り方

ウ 個人の尊重と法の支配

ウ 現代の民主政治と民主社会の倫理

エ 現代の経済社会と経済活動の在り方

エ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割

オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割

(3) 共に生きる社会を目指して

倫理

(1) 現代に生きる自己の課題

(1) 青年期の課題と人間としての在り方生き方

ア 青年期の課題と自己形成

(2) 人間としての在り方生き方

イ 人間としての自覚

ア 人間としての自覚

ウ 国際社会に生きる日本人としての自覚

イ 国際社会に生きる日本人としての自覚

(3) 現代と倫理

(2) 現代と倫理

ア 現代に生きる人間の倫理

ア 現代の特質と倫理的課題

イ 現代の諸課題と倫理

イ 現代に生きる人間の倫理

ウ 現代の諸課題と倫理

政治・経済

(1) 現代の政治

(1) 現代の政治

ア 民主政治の基本原則と日本国憲法

ア 民主政治の基本原則と日本国憲法

イ 現代の国際政治

イ 現代の国際政治

(2) 現代の経済

(2) 現代の経済

ア 現代経済の仕組みと特質

ア 経済社会の変容と現代経済の仕組み

イ 国民経済と国際経済

イ 国民経済と国際経済

(3) 現代社会の諸課題

(3) 現代社会の諸課題

ア 現代日本の政治や経済の諸課題

ア 現代日本の政治や経済の諸課題

イ 国際社会の政治や経済の諸課題

イ 国際社会の政治や経済の諸課題

高等学校数学 内容比較表

改 訂 案	現 行
数学Ⅰ <u>(1)数と式</u> ア 数と集合 (ア) 実数 (イ) 集合 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 (イ) 一次不等式 <u>(2)図形と計量</u> ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 (イ) 鈍角の三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 イ 図形の計量 <u>(3)二次関数</u> ア 二次関数とそのグラフ イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 (イ) 二次方程式・二次不等式 <u>(4)データの分析</u> ア データの散らばり イ データの相関 <u>〔課題学習〕</u>	数学Ⅰ <u>(1)方程式と不等式</u> ア 数と式 (ア) 実数 (イ) 式の展開と因数分解 イ 一次不等式 ウ 二次方程式 <u>(3)図形と計量</u> ア 三角比 (ア) 正弦, 余弦, 正接 (イ) 三角比の相互関係 イ 三角比と図形 (ア) 正弦定理, 余弦定理 (イ) 図形の計量 <u>(2)二次関数</u> ア 二次関数とそのグラフ イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 (イ) 二次不等式
数学Ⅱ <u>(1)いろいろな式</u> ア 式と証明 (ア) 整式の乗法・除法, 分数式の計算 (イ) 等式と不等式の証明 イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 (イ) 因数定理と高次方程式 <u>(2)図形と方程式</u> ア 直線と円 (ア) 点と直線 (イ) 円の方程式 イ 軌跡と領域 <u>(3)指数関数・対数関数</u> ア 指数関数 (ア) 指数の拡張 (イ) 指数関数とそのグラフ イ 対数関数 (ア) 対数 (イ) 対数関数とそのグラフ <u>(4) 三角関数</u> ア 角の拡張 イ 三角関数 (ア) 三角関数とそのグラフ	数学Ⅱ <u>(1)式と証明・高次方程式</u> ア 式と証明 (ア) 整式の除法, 分数式 (イ) 等式と不等式の証明 イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 (イ) 高次方程式 <u>(2)図形と方程式</u> ア 点と直線 (ア) 点の座標 (イ) 直線の方程式 イ 円 (ア) 円の方程式 (イ) 円と直線 <u>(3)いろいろな関数</u> ア 三角関数 (ア) 角の拡張 (イ) 三角関数とその基本的な性質 (ウ) 三角関数の加法定理 イ 指数関数と対数関数 (ア) 指数の拡張 (イ) 指数関数 (ウ) 対数関数

(イ) 三角関数の基本的な性質 ウ 三角関数の加法定理 (5)微分・積分の考え ア 微分の考え (ア) 微分係数と導関数 (イ) 導関数の応用 イ 積分の考え (ア) 不定積分と定積分 (イ) 面積	(4)微分・積分の考え ア 微分の考え (ア) 微分係数と導関数 (イ) 導関数の応用 イ 積分の考え (ア) 不定積分と定積分 (イ) 面積
数学Ⅲ (1) 平面上の曲線と複素数平面 ア 平面上の曲線 (ア) 直交座標による表示 (イ) 媒介変数による表示 (ウ) 極座標による表示 イ 複素数の図表示 (ア) 複素数平面 (イ) ド・モアブルの定理 (2)極限 ア 数列とその極限 (ア) 数列の極限 (イ) 無限等比級数の和 イ 関数とその極限 (ア) 分数関数と無理関数 (イ) 合成関数と逆関数 (ウ) 関数値の極限 (3)微分法 ア 導関数 (ア) 関数の和・差・積・商の導関数 (イ) 合成関数の導関数 (ウ) 三角関数・指数関数・対数関数の導関数 イ 導関数の応用 (4)積分法 ア 不定積分と定積分 (ア) 積分とその基本的な性質 (イ) 置換積分法・部分積分法 (ウ) いろいろな関数の積分 イ 積分の応用	数学Ⅲ (1)極限 ア 数列の極限 (ア) 数列$\{r^n\}$の極限 (イ) 無限等比級数の和 イ 関数とその極限 (ア) 合成関数と逆関数 (イ) 関数値の極限 (2)微分法 ア 導関数 (ア) 関数の和・差・積・商の導関数 (イ) 合成関数の導関数 (ウ) 三角関数・指数関数・対数関数の導関数 イ 導関数の応用 接線，関数値の増減，速度，加速度 (3)積分法 ア 不定積分と定積分 (ア) 積分とその基本的な性質 (イ) 簡単な置換積分法・部分積分法 (ウ) いろいろな関数の積分 イ 積分の応用 面積，体積
数学 A (1)場合の数と確率 ア 場合の数 (ア) 数え上げの原則 (イ) 順列・組合せ イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 (イ) 独立な試行と確率 (ウ) 条件付き確率 (2)整数の性質 ア 約数と倍数 イ ユークリッドの互除法 ウ 整数の性質の応用	数学 A (3)場合の数と確率 ア 順列・組合せ イ 確率とその基本的な法則 ウ 独立な試行と確率 (2)集合と論理 ア 集合と要素の個数 イ 命題と証明

(3)図形の性質 ア 平面図形 (ア) 三角形の性質 (イ) 円の性質 (ウ) 作図 イ 空間図形 〔課題学習〕	(1)平面図形 ア 三角形の性質 イ 円の性質
数学 B (1)確率分布と統計的な推測 ア 確率分布 (ア) 確率変数と確率分布 (イ) 二項分布 イ 正規分布 ウ 統計的な推測 (ア) 母集団と標本 (イ) 統計的な推測の考え (2)数列 ア 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 (イ) いろいろな数列 イ 漸化式と数学的帰納法 (ア) 漸化式と数列 (イ) 数学的帰納法 (3)ベクトル ア 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 (イ) ベクトルの内積 イ 空間座標とベクトル	数学 B (1)数列 ア 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 (イ) いろいろな数列 イ 漸化式と数学的帰納法 (ア) 漸化式と数列 (イ) 数学的帰納法 (2)ベクトル ア 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 (イ) ベクトルの内積 イ 空間座標とベクトル 空間座標，空間におけるベクトル (3)統計とコンピュータ ア 資料の整理 度数分布表，相関図 イ 資料の分析 代表値，分散，標準偏差，相関係数 (4)数値計算とコンピュータ ア 簡単なプログラム イ いろいろなアルゴリズム (ア) 整数の計算 (イ) 近似値の計算
	数学 C (1)行列とその応用 ア 行列 (ア) 行列とその演算 (イ) 行列の積と逆行列 イ 行列の応用 (ア) 連立一次方程式 (イ) 点の移動 (2)式と曲線 ア 二次曲線 (ア) 放物線 (イ) 楕円と双曲線 イ 媒介変数表示と極座標 (ア) 曲線の媒介変数表示 (イ) 極座標と極方程式 (3)確率分布 ア 確率の計算 イ 確率分布

	(ア) 確率変数と確率分布 (イ) 二項分布 (4)統計処理 ア 正規分布 (ア) 連続型確率変数 (イ) 正規分布 イ 統計的な推測 (ア) 母集団と標本 (イ) 統計的な推測の考え
数学活用 (1)数学と人間の活動 ア 数や図形と人間の活動 イ 遊びの中の数学 (2)社会生活における数理的な考察 ア 社会生活と数学 イ 数学的な表現の工夫 ウ データの分析	数学基礎 (1)数学と人間の活動 ア 数と人間 イ 図形と人間 (2)社会生活における数理的な考察 ア 社会生活と数学 イ 身近な事象の数理的な考察 (3)身近な統計 ア 資料の整理 イ 資料の傾向の把握

高等学校物理 内容比較表

○改訂案

『物理基礎』（2単位）		
(1) 物体の運動とエネルギー	ア 運動の表し方	(ア) 物理量の測定と扱い方 (イ) 運動の表し方 (ウ) 直線運動の加速度
	イ 様々な力とその働き	(ア) 様々な力 (イ) 力のつり合い (ウ) 運動の法則 (エ) 物体の落下運動
	ウ 力学的エネルギー	(ア) 運動エネルギーと位置エネルギー (イ) 力学的エネルギーの保存
	エ 物体の運動とエネルギーに関する探究活動	
(2) 様々な物理現象とエネルギーの利用	ア 熱	(ア) 熱と温度 (イ) 熱の利用
	イ 波	(ア) 波の性質 (イ) 音と振動
	ウ 電気	(ア) 物質と電気抵抗 (イ) 電氣の利用
	エ エネルギーとその利用	(ア) エネルギーとその利用
	オ 物理学が拓く世界	(ア) 物理学が拓く世界
カ 様々な物理現象とエネルギーに関する探究活動		

『物理』（4単位）		
(1) 様々な運動	ア 平面内の運動と剛体のつり合い	(ア) 曲線運動の速度と加速度 (イ) 斜方投射 (ウ) 剛体のつり合い
	イ 運動量	(ア) 運動量と力積 (イ) 運動量の保存 (ウ) はね返り係数
	ウ 円運動と単振動	(ア) 円運動 (イ) 単振動
	エ 万有引力	(ア) 惑星の運動 (イ) 万有引力
	オ 気体分子の運動	(ア) 気体分子の運動と圧力 (イ) 気体の内部エネルギー (ウ) 気体の状態変化
	カ 様々な運動に関する探究活動	
(2) 波	ア 波の伝わり方	(ア) 波の伝わり方とその表し方 (イ) 波の干渉と回折
	イ 音	(ア) 音の干渉と回折 (イ) 音のドップラー効果
	ウ 光	(ア) 光の伝わり方 (イ) 光の回折と干渉
	エ 波に関する探究活動	
(3) 電気と磁気	ア 電気と電流	(ア) 電荷と電界 (イ) 電界と電位 (ウ) コンデンサー (エ) 電氣回路
	イ 電流と磁界	(ア) 電流による磁界 (イ) 電流が磁界から受ける力 (ウ) 電磁誘導 (エ) 電磁波の性質とその利用
	ウ 電気と磁気に関する探究活動	
(4) 原子	ア 電子と光	(ア) 電子 (イ) 粒子性と波動性
	イ 原子と原子核	(ア) 原子とスペクトル (イ) 原子核 (ウ) 素粒子
	ウ 物理学が築く未来	(ア) 物理学が築く未来
	エ 原子に関する探究活動	

ゴシック体は，新設項目

○現行

『物理Ⅰ』（3単位）		
(1) 電気	ア 生活の中の電気	(ア) 電気と生活 (イ) モーターと発電機 (ウ) 交流と電波
	イ 電気に関する探究活動	
(2) 波	ア いろいろな波	
	イ 音と光	(ア) 音の伝わり方 (イ) 音の干渉と共鳴 (ウ) 光の伝わり方 (エ) 光の回折と干渉
	ウ 波に関する探究活動	
(3) 運動とエネルギー	ア 物体の運動	(ア) 日常に起こる物体の運動 (イ) 運動の表し方 (ウ) 運動の法則
	イ エネルギー	(ア) エネルギーの測り方 (イ) 運動エネルギーと位置エネルギー (ウ) 熱と温度 (エ) 電氣とエネルギー (オ) エネルギーの変換と保存
	ウ 運動とエネルギーに関する探究活動	

『物理Ⅱ』（3単位）		
(1) 力と運動	ア 物体の運動	(ア) 平面上の運動 (イ) 運動量と力積
	イ 円運動と万有引力	(ア) 円運動と単振動 (イ) 万有引力による運動
(2) 電気と磁気	ア 電界と磁界	(ア) 電荷と電界 (イ) 電流による磁界
	イ 電磁誘導と電磁波	(ア) 電磁誘導 (イ) 電磁波
☆ (3) 物質と原子	ア 原子，分子の運動	(ア) 物質の三態 (イ) 分子の運動と圧力
	イ 原子，電子と物質の性質	(ア) 原子と電子 (イ) 固体の性質と電子
☆ (4) 原子と原子核	ア 原子の構造	(ア) 粒子性と波動性 (イ) 量子論と原子の構造
	イ 原子核と素粒子	(ア) 原子核 (イ) 素粒子と宇宙
(5) 課題研究	ア 特定の物理的事象に関する研究	
	イ 物理学を発展させた実験に関する研究	

■は，主に「物理基礎」の内容

■は，主に「物理」の内容

各項目の内容の全部又は一部が中学校又は他の科目へ移行するものもあり

☆印は，選択項目

高等学校化学 内容比較表

○改訂案

『化学基礎』（２単位）

(1) 化学と人間生活	ア 化学と人間生活とのかわり	(ア) 人間生活の中の化学 (イ) 化学とその役割
	イ 物質の探究	(ア) 単体・化合物・混合物 (イ) 熱運動と物質の三態
	ウ 化学と人間生活に関する探究活動	
(2) 物質の構成	ア 物質の構成粒子	(ア) 原子の構造 (イ) 電子配置と周期表
	イ 物質と化学結合	(ア) イオンとイオン結合 (イ) 金属と金属結合 (ウ) 分子と共有結合
	ウ 物質の構成に関する探究活動	
(3) 物質の変化	ア 物質量と化学反応式	(ア) 物質量 (イ) 化学反応式
	イ 化学反応	(ア) 酸・塩基と中和 (イ) 酸化と還元
	ウ 物質の変化に関する探究活動	

『化学』（４単位）

(1) 物質の状態と平衡	ア 物質の状態とその変化	(ア) 状態変化 (イ) 気体の性質 (ウ) 固体の構造
	イ 溶液と平衡	(ア) 溶解平衡 (イ) 溶液とその性質
	ウ 物質の状態と平衡に関する探究活動	
(2) 物質の変化と平衡	ア 化学反応とエネルギー	(ア) 化学反応と熱・光 (イ) 電気分解 (ウ) 電池
	イ 化学反応と化学平衡	(ア) 反応速度 (イ) 化学平衡とその移動 (ウ) 電離平衡
	ウ 物質の変化と平衡に関する探究活動	
(3) 無機物質の性質と利用	ア 無機物質	(ア) 典型元素 (イ) 遷移元素
	イ 無機物質と人間生活	(ア) 無機物質と人間生活
	ウ 無機物質の性質と利用に関する探究活動	
(4) 有機化合物の性質と利用	ア 有機化合物	(ア) 炭化水素 (イ) 官能基をもつ化合物 (ウ) 芳香族化合物
	イ 有機化合物と人間生活	(ア) 有機化合物と人間生活
	ウ 有機化合物の性質と利用に関する探究活動	
(5) 高分子化合物の性質と利用	ア 高分子化合物	(ア) 合成高分子化合物 (イ) 天然高分子化合物
	イ 高分子化合物と人間生活	(ア) 高分子化合物と人間生活
	ウ 高分子化合物の性質と利用に関する探究活動	

ゴシック体は，新設項目

○現行

『化学Ⅰ』（３単位）

(1) 物質の構成	ア 物質と人間生活	(ア) 化学とその役割 (イ) 物質の探究
	イ 物質の構成粒子	(ア) 原子，分子，イオン (イ) 物質量
	ウ 物質の構成に関する探究活動	
(2) 物質の種類と性質	ア 無機物質	(ア) 単体 (イ) 化合物
	イ 有機化合物	(ア) 炭化水素 (イ) 官能基を含む化合物
	ウ 物質の種類と性質に関する探究活動	
(3) 物質の変化	ア 化学反応	(ア) 反応熱 (イ) 酸・塩基，中和 (ウ) 酸化と還元
	イ 物質の変化に関する探究活動	

『化学Ⅱ』（３単位）

(1) 物質の構造と化学平衡	ア 物質の構造	(ア) 化学結合 (イ) 気体の法則 (ウ) 液体と固体
	イ 化学平衡	(ア) 反応速度 (イ) 化学平衡
☆ (2) 生活と物質	ア 食品と衣料の化学	(ア) 食品 (イ) 衣料
	イ 材料の化学	(ア) プラスチック (イ) 金属，セラミックス
☆ (3) 生命と物質	ア 生命の化学	(ア) 生命体を構成する物質 (イ) 生命を維持する化学反応
	イ 薬品の化学	(ア) 医薬品 (イ) 肥料
(4) 課題研究	ア 特定の化学的事象に関する研究	
	イ 化学を発展させた実験に関する研究	

は，主に「化学基礎」の内容

は，主に「化学」の内容

各項目の内容の全部又は一部が中学校又は他の科目へ移行するものもあり
☆印は，選択項目

高等学校生物 内容比較表

○改訂案

『生物基礎』(2単位)

(1)生物と遺伝子	ア 生物の特徴	(ア) 生物の共通性と多様性
		(イ) 細胞とエネルギー
	イ 遺伝子とその働き	(ア) 遺伝情報とDNA
		(イ) 遺伝情報の分配
	ウ 生物と遺伝子に関する探究活動	(ウ) 遺伝情報とタンパク質の合成
(2)生物の体内環境の維持	ア 生物の体内環境	(ア) 体内環境
		(イ) 体内環境の維持の仕組み
		(ウ) 免疫
	イ 生物の体内環境の維持に関する探究活動	
(3)生物の多様性と生態系	ア 植生の多様性と分布	(ア) 植生と遷移
		(イ) 気候とバイオーム
	イ 生態系とその保全	(ア) 生態系と物質循環
		(イ) 生態系のバランスと保全
	ウ 生物の多様性と生態系に関する探究活動	

『生物』(4単位)

(1)生命現象と物質	ア 細胞と分子	(ア) 生体物質と細胞
		(イ) 生命現象とタンパク質
	イ 代謝	(ア) 呼吸
		(イ) 光合成
		(ウ) 窒素同化
	ウ 遺伝情報の発現	(ア) 遺伝情報とその発現
		(イ) 遺伝子の発現調節
	エ 生命現象と物質に関する探究活動	(ウ) バイオテクノロジー
(2)生殖と発生	ア 有性生殖	(ア) 減数分裂と受精
		(イ) 遺伝子と染色体
	イ 動物の発生	(ア) 配偶子形成と受精
		(イ) 初期発生の過程
		(ウ) 細胞の分化と形態形成
	ウ 植物の発生	(ア) 配偶子形成と受精, 胚発生
		(イ) 植物の器官の分化
	エ 生殖と発生に関する探究活動	
(3)生物の環境応答	ア 動物の反応と行動	(ア) 刺激の受容と反応
		(イ) 動物の行動
	イ 植物の環境応答	(ア) 植物の環境応答
	ウ 生物の環境応答に関する探究活動	
(4)生態と環境	ア 個体群と生物群集	(ア) 個体群
		(イ) 生物群集
	イ 生態系	(ア) 生態系の物質生産
		(イ) 生態系と生物多様性
	ウ 生態と環境に関する探究活動	
(5)生物の進化と系統	ア 生物の進化の仕組み	(ア) 生命の起源と生物の変遷
		(イ) 進化の仕組み
	イ 生物の系統	(ア) 生物の系統
	ウ 生物の進化と系統に関する探究活動	

ゴシック体は新規項目

○現 行

『生物Ⅰ』(3単位)

(1)生命の連続性	ア 細胞	(ア) 細胞の機能と構造
		(イ) 細胞の増殖と生物体の構造
	イ 生殖と発生	(ア) 生殖細胞の形成と受精
		(イ) 発生とその仕組み
	ウ 遺伝	(ア) 遺伝の法則
		(イ) 遺伝子と染色体
	エ 生命の連続性に関する探究活動	
(2)環境と生物の反応	ア 環境と動物の反応	(ア) 体液とその恒常性
		(イ) 刺激の受容と反応
	イ 環境と植物の反応	(ア) 植物の生活と環境
		(イ) 植物の反応と調節
	ウ 環境と生物の反応に関する探究活動	

『生物Ⅱ』(3単位)

(1)生物現象と物質	ア タンパク質と生物体の機能	(ア) 生物体内の化学反応と酵素
		(イ) 同化と異化
		(ウ) タンパク質の機能
	イ 遺伝情報とその発現	(ア) 遺伝情報とタンパク質の合成
		(イ) 形質発現の調節と形態形成
		(ウ) バイオテクノロジー
☆ (2)生物の分類と進化	ア 生物の分類と系統	(ア) 生物の分類
		(イ) 生物の系統
	イ 生物の進化	(ア) 生物界の変遷
		(イ) 進化の仕組み
☆ (3)生物の集団	ア 個体群の構造と維持	(ア) 個体群の維持と適応
		(イ) 物質生産と植物の生活
	イ 生物群集と生態系	(ア) 生物群集の維持と変化
		(イ) 生態系とその平衡
(4)課題研究	ア 特定の生物や生物現象に関する研究	
	イ 自然環境についての調査	

は、主に「生物基礎」の内容

は、主に「生物」の内容

各項目の内容の全部又は一部が中学校又は他の科目へ移行することもあり

☆印は、選択項目

高等学校地学 内容比較表

○改訂案

『地学基礎』(2単位)

(1)宇宙における地球	ア 宇宙の構成	(ア) 宇宙のすがた (イ) 太陽と恒星
	イ 惑星としての地球	(ア) 太陽系の中の地球 (イ) 地球の形と大きさ (ウ) 地球内部の層構造
	ウ 宇宙における地球に関する探究活動	
(2)変動する地球	ア 活動する地球	(ア) プレートの運動 (イ) 火山活動と地震
	イ 移り変わる地球	(ア) 地層の形成と地質構造 (イ) 古生物の変遷と地球環境
	ウ 大気と海洋	(ア) 地球の熱収支 (イ) 大気と海水の運動
	エ 地球の環境	(ア) 地球環境の科学 (イ) 日本の自然環境
	オ 変動する地球に関する探究活動	

『地学』(4単位)

(1)地球の概観	ア 地球の形状	(ア) 地球の形と重力 (イ) 地球の磁気
	イ 地球の内部	(ア) 地球の内部構造 (イ) 地球内部の状態と物質
	ウ 地球の概観に関する探究活動	
(2)地球の活動と歴史	ア 地球の活動	(ア) プレートテクトニクス (イ) 地震と地殻変動 (ウ) 火成活動 (エ) 変成作用と変成岩
	イ 地球の歴史	(ア) 地表の変化 (イ) 地層の観察 (ウ) 地球環境の変遷 (エ) 日本列島の成り立ち
	ウ 地球の活動と歴史に関する探究活動	
(3)地球の大気と海洋	ア 大気の種類と運動	(ア) 大気の種類 (イ) 大気の種類と気象
	イ 海洋と海水の運動	(ア) 海洋の種類 (イ) 海水の運動
	ウ 地球の大気と海洋に関する探究活動	
(4)宇宙の構造	ア 太陽系	(ア) 地球の自転と公転 (イ) 太陽系天体とその運動 (ウ) 太陽の活動
	イ 恒星と銀河系	(ア) 恒星の性質と進化 (イ) 銀河系の構造
	ウ 銀河と宇宙	(ア) 様々な銀河 (イ) 膨張する宇宙
	エ 宇宙の構造に関する探究活動	

ゴシック体は新規項目

○現 行

『地学Ⅰ』(3単位)

(1)地球の構成	ア 地球の概観	(ア) 太陽系の中の地球 (イ) 地球の形状と活動
	イ 地球の内部	(ア) 地球の内部構造と構成物質 (イ) 火山と地震
	ウ 地球の歴史	(ア) 野外観察と地形・地質 (イ) 地層の形成と地殻変動 (ウ) 化石と地質時代
	エ 地球の構成に関する探究活動	
(2)大気・海洋と宇宙の構成	ア 大気と海洋	(ア) 大気の種類と大気の種類 (イ) 海水の運動
	イ 宇宙の構成	(ア) 太陽の形状と活動 (イ) 恒星の性質と進化 (ウ) 銀河系と宇宙
	ウ 大気・海洋と宇宙の構成に関する探究活動	

『地学Ⅱ』(3単位)

(1)地球の探究	ア プレートの動きと地殻の変化	(ア) プレートの動き (イ) 大地形の形成
	イ 日本列島の変遷	(ア) 島弧としての日本列島 (イ) 日本列島の地史
☆ (2)地球表層の探究	ア 地球の観測	(ア) 重力と地磁気 (イ) 気象と海洋の観測
	イ 大気と海洋の現象	(ア) 気象と気候 (イ) 海洋の現象
☆ (3)宇宙の探究	ア 天体の観測	(ア) 天体の放射 (イ) 天体の様々な観測
	イ 宇宙の広がり	(ア) 天体の距離と質量 (イ) 宇宙の構造
(4)課題研究	ア 特定の地学的現象に関する研究	
	イ 自然環境についての調査	

は、主に「地学基礎」の内容
は、主に「地学」の内容
各項目の内容の全部又は一部が中学校又は他の科目へ移行することもあり
☆印は、選択項目

高等学校保健体育の内容及び取扱い等(現行)

〔科目 体育〕

領域及び内容	入学年次	その次の年次	それ以降の年次	内容の取扱い
【A 体づくり運動】	必修	必修	必修	ア、イ 必修
ア 体ほぐしの運動				
イ 体力を高める運動				
【B 器械運動】	B、C、D、 E、F、Gから③又は④ 選択	B、C、D、 E、F、Gから③又は④ 選択	B、C、D、 E、F、Gから②～④選 択	ア～エから選択
ア マット運動				
イ 鉄棒運動				
ウ 平均台運動				
エ 跳び箱運動				
【C 陸上競技】				ア～ウから選択
ア 競走				
イ 跳躍				
ウ 投てき				
【D 水泳】				ア～オから選択
ア クロール				
イ 平泳ぎ				
ウ 背泳ぎ				
エ バタフライ				
オ 横泳ぎ				
【E 球技】				ア～ケから②選択
ア バスケットボール				
イ ハンドボール				
ウ サッカー				
エ ラグビー				
オ バレーボール				
カ テニス				
キ 卓球				
ク バドミントン				
ケ ソフトボール				
【F 武道】				ア、イから選択
ア 柔道				
イ 剣道				
【G ダンス】				ア～ウから選択
ア 創作ダンス				
イ フォークダンス				
ウ 現代的なリズムのダンス				
【H 体育理論】	必修	必修	必修	(1)、(2)、(3) 必修
(1)社会の変化とスポーツ				
(2)運動技能の構造と運動の学び方				
(3)体ほぐしの意義と体力の高め方				

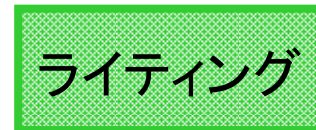
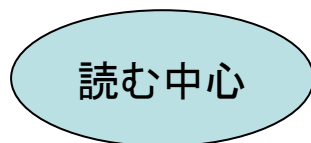
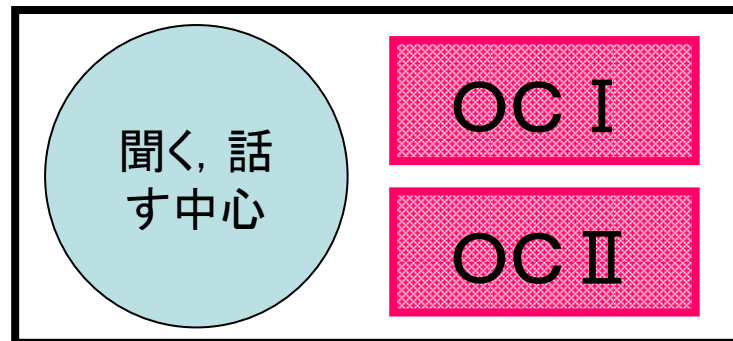
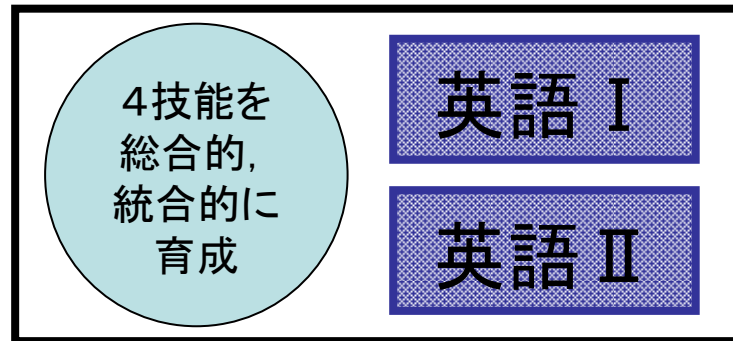
高等学校保健体育の内容及び取扱い等(改訂案)

〔科目 体育〕

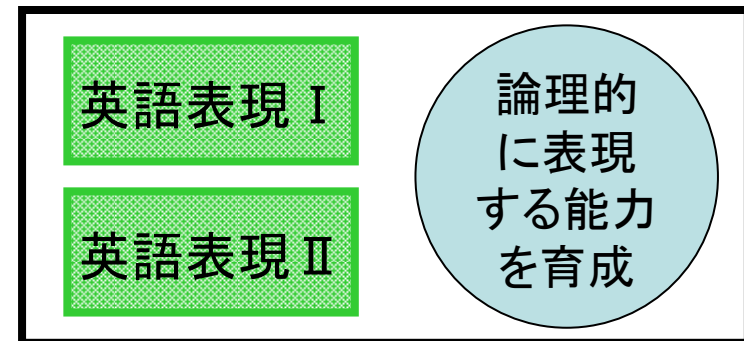
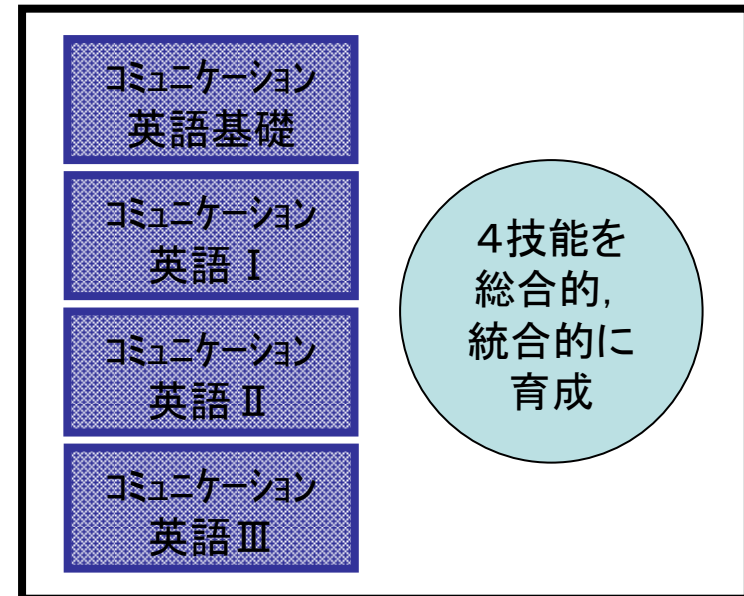
領域及び内容	入学年次	その次の年次	それ以降の年次	内容の取扱い
【A 体づくり運動】 ア 体ほぐしの運動 イ 体力を高める運動	必修	必修	必修	ア、イ 必修 (各年次7～10単位時間)
【B 器械運動】 ア マット運動 イ 鉄棒運動 ウ 平均台運動 エ 跳び箱運動				ア～エから選択
【C 陸上競技】 ア 競走 イ 跳躍 ウ 投てき				ア～ウに示す運動から選択
【D 水泳】 ア クロール イ 平泳ぎ ウ 背泳ぎ エ バタフライ オ 複数の泳法で長く泳ぐ又はリレー	B, C, D, Gから ①以上選択	B, C, D, E, F, Gから ②以上選択	B, C, D, E, F, Gから ②以上選択	ア～オから選択
【E 球技】 ア ゴール型 イ ネット型 ウ ベースボール型				入学年次では、ア～ウから②選択 その次の年次以降では、ア～ウから選択
【F 武道】 ア 柔道 イ 剣道				ア又はイのいずれか選択
【G ダンス】 ア 創作ダンス イ フォークダンス ウ 現代的なリズムのダンス	B, C, D, Gから ①以上選択			ア～ウから選択
【H 体育理論】 (1)スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴 (2)運動やスポーツの効果的な学習の仕方 (3)豊かなスポーツライフの設計の仕方				(1)は入学年次、 (2)はその次の年次、 (3)はそれ以降の年次で必修 (各年次6単位時間以上)

高等学校外国語科の科目構成

(旧)



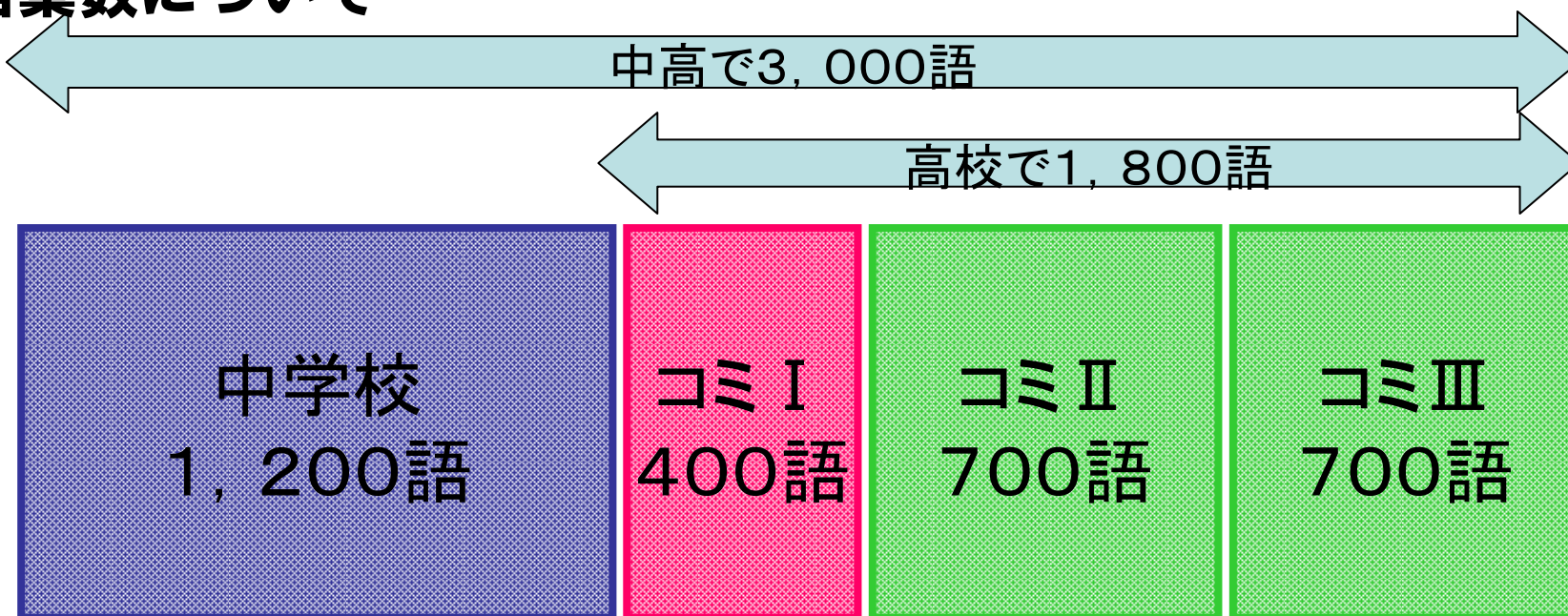
(新)



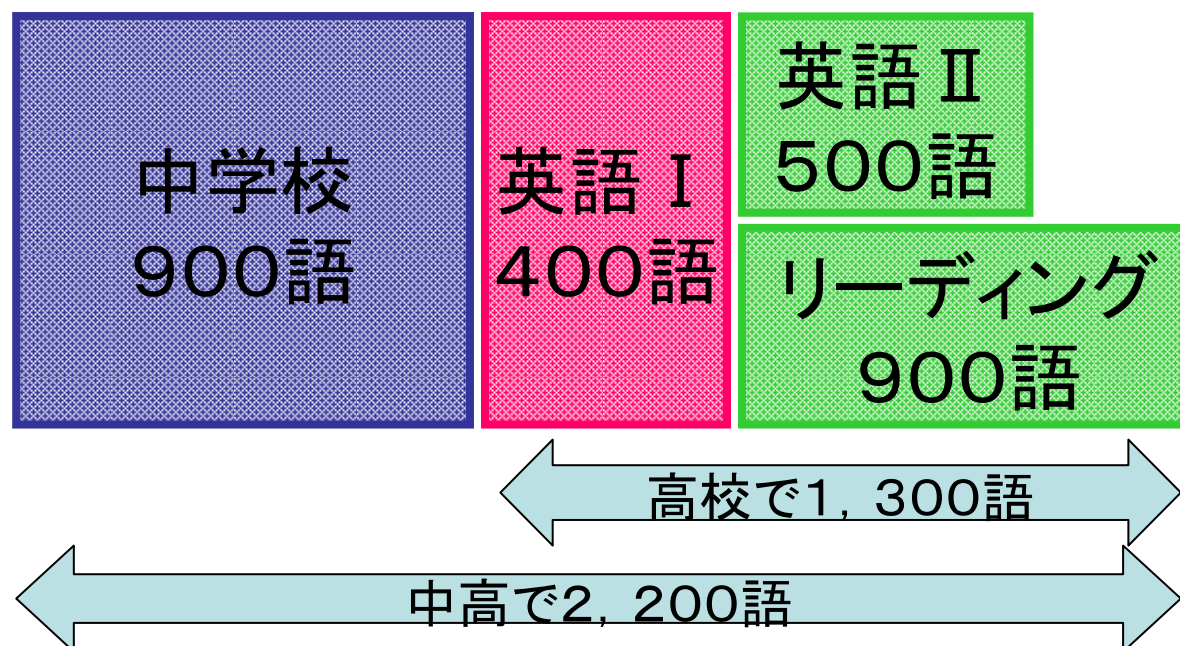
(※) 矢印は, 指導内容の変更に係る概略イメージ。

○ 語彙数について

改訂案



現行



■ は、高校必修。
■ は、高校選択。

普通教科「情報」: 学習指導要領の内容項目の新旧対照表

